

6年生が「村のよさ」を村外に発信しようと奮闘中！

### 活動の成果を携え「タウンミーティング」で提案

2月20日、いいたて希望の里 じた特産品の魅力発信を、「飯館村農業・特産物広め隊」が飯館村検定の周知を、「とくさんどうぶつプロジェクト」が創作したキャラクターの活用を提案しました。伝統を引き継ぐ人、将来に向けて頑張る人がいることも「村のよさ」と語る児童の感性、「いいたて学」の学びで培った知識や行動力、それらを生かした提案に、出席者からは称賛と期待の声が相次ぎました。

※「いいたて学」＝義務教育学校の特徴を生かして取り組んでいる学園独自の教科。



タブレット端末やパソコンを使い各班がプレゼンテーション。写真は「とくさんどうぶつプロジェクト」班。



それぞれの提案について、杉岡村長、高橋副村長、高橋教育長職務代理者と意見を交わしました。



特産品をモチーフに魅力的なキャラクターを創作。



3月中旬まで関連の展示を実施中。道の駅の展示(上)はレシピの投票ボードを設置したり、「とくさんどうぶつ」「飯館村検定」を紹介したりと充実。図図倉庫(左)にはグッズの試作品などをディスプレイ。

## 6年生が考えた 飯館村検定にチャレンジしよう！

今回の実施期間は3月20日まで

スマホでQRコードを読み取ってね

5級		3級	
4級		2級	
		1級	

ゲーム感覚で楽しみながら村の特産品について学べる検定クイズを公開中。プログラミングやデザインなど全て児童が手がけたものです。村民の皆さんもぜひ挑戦してみてください。

〈編集後記〉

笑顔は人を元気にすることを改めて感じた月でした。取材中に見られる皆さんの飾らない笑顔は、見ているこちらまで笑顔にしてくれます。あたたかい人柄は、広報紙をより素敵なものにしてください。人のあたたかさに「日本でも美しい」ですね。(大和田)

学園の6年生の皆さんが「いいたて学」で出会った村民の皆さんを誇り、人の在り方も村のよさだと語り、郷土愛をもってアイデアいっぱい活動を展開しています(上の記事参照)。避難の期間に生まれた「ふるさと学習」が「いいたて学」のルーツ。あの時のバトンが手から手へつながれています。(星)